

東日本大震災復興支援事業 東日本大震災復興支援委員会
平成24年8月3日(金)～7日(火)

壊れた校舎… 津波が奪った日常切々

昨年に続き岩手県大船渡市の小学校を支援いたしました。1年以上経った大船渡市は瓦礫も取り除かれ復興に向けて一步一步進んでいる様子がうかがえます。そんな中、今年度は越喜来(おきらい)小学校を支援させていただきました。昨年、大船渡市の大船渡小学校へ、運動会の玉入れで使用する紅白の玉を寿恵野小の児童達にメッセージを書いてもらい寄贈させていただきました。その縁で、クラブが大船渡小に「本年度も引き続き、支援したい」と申し出たところ、越喜来小を紹介され、学校支援と5人の児童と教師を豊田市に招き2泊3日のホームステイと寿恵野小学校の児童と交流することになりました。また、寿恵野小学校で被災体験を語っていただき、5、6年生196人が、困難に立ち向かう同じ小学生の言葉に耳を傾けました。



越喜来小は旧越喜来、崎浜、甫嶺(ほらい)の3小学校が統合して今年の4月に誕生したばかり。校舎は被害のなかった甫嶺小を使っていますとのこと。



6年生5人が災害の様子やボランティアら支援してくれた人への感謝をまとめた作文を発表しました。

ある子は学校で友達と手をつないで揺れが収まるまで耐え、異臭とともに「ゴーッ」という音がして誰かが「津波だ」と叫ぶ声が聞こえたと振り返った。自宅は津波で流され、今は家族6人が4部屋しかない仮設住宅で暮らしていることも涙ぐみながら話していました。

3階建ての校舎が津波で全壊した旧越喜来小の校舎、天井に穴があいた体育館、津波が襲ったとみられる「午後3時21分」を指したまま止まった時計などの写真も映し出され、引率の教諭は「被災していない小学校の校庭には仮設住宅が建っており、思い切りスポーツはできない」と現状を説明しました。

寿恵野小の子供は「私たちの知らない苦難が、こんなにあったのかと感じた。当たり前毎日に感謝しなくてはいけないと思う」。「豊田にも東海地震がいつ来るか分からないと言われていきます。もっと強くならなくてはいけないと思いました」などと感想が聞かれました。



盲導犬育成支援活動

第27回盲導犬育成市民チャリティーゴルフ大会
平成24年8月24日(金) ロイヤルカントリークラブ
盲導犬育成市民チャリティーゴルフ大会実行委員会

晴天の中、例年のごとくたくさんの市民のみなさんの参加を得て盛大に且つ和やかな雰囲気の中で盲導犬育成市民チャリティーゴルフ大会がおこなわれました。

賞品には東日本大震災復興支援の意味も込め、現地の特産品をそろえさせていただきました。

チャリティー目的である募金として多額のご厚志を頂戴いたしました。感謝申し上げます。

参加人員：300人



豊田市南部地区子ども会球技大会 環境保全・青少年育成委員会
平成24年7月～8月



盲導犬育成支援活動を共に行っている、豊田市南部地区の子ども会の皆さんが行っている球技大会を支援させていただきました。予選を勝ち上がってきたチームが優勝を目指し熱戦を繰り広げました。猛暑の中、父兄の皆さんも子どもに負けないほど熱のこもった声援を送っていました。表彰式では、上位チームにライオンズメンバーからメダルが贈呈され、すがすがしい子供たちの姿が印象的でした。

また、会場では中部盲導犬協会から盲導犬2匹が参加し地域の方々や参加チームの皆さんから盲導犬育成募金にたくさんの寄付金を頂きました。

父兄の方々から「盲導犬に触れる機会はなかなかありません。子供達にも良い経験になったと思う。これからは是非続けていって頂きたい」と、心強い意見を頂き、事業に対する自信と継続することの重要性を再確認いたしました。



献血活動実施

平成24年9月20日(木) Aコープ若林店 駐車場
保健公衆YCE国際協調委員会

当日はまだまだ夏を思わせる日差しの強い中、多くの市民の方々、そして、ゾーンの役員の方や当クラブのメンバーと関係者らの善意の献血が有りました。皆様のご協力のおかげで昨年を上回る成績を上げる事が出来ました。愛知県赤十字センターより「皆様のご善意は尊い人命を守るために、広く使用させていただきます」とお礼状を頂きました。

